

女子ホッケー日本代表 豪州4カ国大会 2017

大会名	International Festival of Hockey Melbourne	日付	2017年11月11日
場所	State Netball and Hockey Centre	天候	晴れ
試合	第3戦(予選リーグ 最終戦)	通算結果	1勝1敗1分

Country	RESULT	Country																
オーストラリア Australia	2	3																
	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td>1P</td><td>1</td><td>-</td><td>1</td></tr> <tr><td>2P</td><td>0</td><td>-</td><td>1</td></tr> <tr><td>3P</td><td>0</td><td>-</td><td>0</td></tr> <tr><td>4P</td><td>1</td><td>-</td><td>1</td></tr> </table>	1P	1	-	1	2P	0	-	1	3P	0	-	0	4P	1	-	1	日本 JAPAN
1P	1	-	1															
2P	0	-	1															
3P	0	-	0															
4P	1	-	1															

Start	No.	Name	備考
	3	PERIS Brooke	
✓	4	HURTZ Emily	
✓	8	WILSON Georgia	
3	9	BRAZEL Lily	
✓	10	FITZPATRICK Maddy	
✓	14	KERSHAW Stephanie	
✓	15	NOBBS Kaitlin	
22	18	CLAXTON Jane	
✓	19	BARTRAM Jocelyn	GK
4	21	TAYLOR Renee	
4	22	RATCLIFFE Madi	
✓	25	FEY Ashlea	
✓	26	SMITH Emily	C
✓	27	LYNCH Rachael	GK
4	28	BATES Kristina	
✓	29	DAY Jacqui	
3	31	BARDEN Laura	
✓	32	FITZPATRICK Savannah	
ヘッドコーチ		GAUDOIN Paul	
UMPIRE		BEFORT Maggie (USA)	

Start	No.	Name	備考
✓	1	景山 恵	GK
✓	2	内藤 夏紀	
	5	一谷 麻実	
✓	8	真野 由佳梨	
✓	9	永井 友理	
✓	10	永井 葉月	
✓	11	野村 香奈	
✓	12	及川 菜	
✓	13	狐塚 美樹	
✓	14	瀬川 真帆	
4	16	辻井 紫歩	
4	17	一谷 奈歩	
3	19	金藤 祥子	
✓	20	清水 美並	
3	23	田中 泉樹	
2	24	西永 優衣	
	31	赤谷 衿香	GK
✓	32	湯田 葉月	C
ヘッドコーチ		アンソニー ジェイムス ファリー	
UMPIRE		CUMMING Jo (NZL)	

Country	Min	Name	Action	Score
JPN	3	永井 友理	FG	0-1
AUS	4	FITZPATRICK Savannah	FG	1-1
JPN	18	野村 香奈	PC	1-2
AUS	54	FITZPATRICK Savannah	FG	2-2
JPN	56	野村 香奈	PC	2-3

Country	Min	Name	Action	Score

第1Q、世界ランキング5位のオーストラリアと明日の決勝進出をかけた一戦。日本のセンターパスで試合が始まる。両チームは、試合開始から全力のプレーを繰り広げる。まず、先手を取ったのは日本。3分に、素早いパス回しから右サイドのサークル付近でボールを受けた#19金藤が相手DFを巧みに抜きながらサークルインパス、それをゴール前にポジションしていた#9永井友理がリパスでGKの股を抜きゴールを決める。しかし、その直後の4分、オーストラリアに右からのセンターリングをゴール前に通されシュート、そのリバウンドを#32のFITZPATRICKに押し込まれ、同点とされる。

第2Q、日本は強みであるプレスをきっちり相手に仕掛けるために調整を行う。ホームのオーストラリアも観客の声援を受け、力強いプレーを展開し、一進一退のゲーム展開が続く。しかしながら、再び先手を取ったのは日本。18分、早い展開から右サイドでボールを受けた#11野村がドリブルでサークルインしPCを獲得。そのPCを、同じく#11野村が、強烈なドラッグフリックをGKのスティックサイド低めに決め、再び2-1とリードする。

第3Q、日本は、ハーフタイムでさらにプレスの調整を行う。ヘッドコーチからは、特に攻から守へのトランジションをもっと早くするように指示が出る。日本は、さらにギアチェンジをして、後半の初めからもっと自分達らしいホッケーができるように果敢にチャレンジする。しかし、オーストラリアも意地を見せ、なかなかチャンスが作り出せない。

第4Q、日本は、チーム全体で果敢にプレスをかけ続けるが、グリーンカードで1人少なくなった時間帯に相手に数的優位の状況をつくれ、54分、右サイドからゴール前に入れられたパスを#32のFITZPATRICKにDFの前で巧みにタッチされ同点ゴールを許してしまう。しかし、ここから日本はこの時間帯をしっかりと耐えて、流れを引き戻す。アタッキングハーフでのプレーの時間が増えてきた日本は、56分、中央から右への素早いパス回しからサークルイン、PCを獲得。このPCを再び#11野村が鋭いドラッグフリックをGKスティックサイドの中段に決め、待望の追加点で3-2とする。この後も、日本は自分達らしいプレーを全力で展開し、きっちり勝利をものにし、明日の決勝進出を決めた。

オーストラリア	5	-	8	PC数	3	-	1	日本
				シュート数				